

ソフトバンク・テクノロジー 株式会社
第2四半期株主通信
2013.4.1—2013.9.30



情報革命で人々を幸せに
——技術の力で、未来をつくる——





TOP MESSAGE

トップメッセージ

成長戦略を加速へ

代表取締役社長CEO **阿多 親市**

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第26期第2四半期（2013年4月1日～2013年9月30日）の事業概要をご報告申し上げます。

当期におきましては、「大きな成長を遂げる」また、そのための「No.1の事業領域を創り出す」ために、事業のサービス化、成長戦略の推進、戦略的業務提携といった施策を進めてまいりました。

今期、新たに子会社化した株式会社環、およびフォントワークス株式会社とのシナジーを創出し、事業規模の拡大と企業価値の向上に向け、より成長を加速させてまいります。

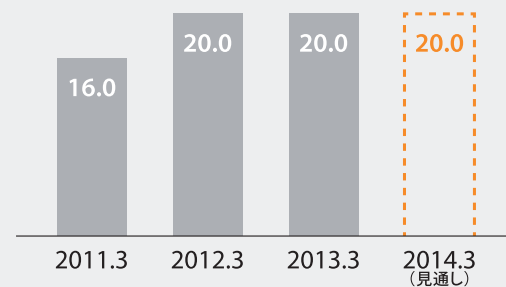
当社は今後も引き続き、成長戦略を推し進めていくことで、株主の皆様の期待に応えてまいりたいと考えております。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 株当たり配当金の推移 (円)

1株当たり配当金の状況

当社は変化の激しい環境における業績の進展を確認し、また内部留保の充実などを勘案しながら、安定的な配当を継続することを基本方針としております。この方針に則り、2014年3月期は20円の普通配当を計画しています。



BUSINESS STRATEGY 成長戦略と取り組み

POINT
1

機器販売からサービス提供へ

構造改革により事業のサービス化が拡大し、限界利益率が向上いたしました。

POINT
2

成長戦略の推進

積極的な技術者の人材採用を行い、投資を継続いたしました。

POINT
3

M & Aによる事業成長

株式会社環、フォントワークス株式会社と、シナジー創出に向けたM&Aを行いました。

FINANCIAL HIGHLIGHT

決算ハイライト

売上高

イービジネスサービス事業は、堅調に推移いたしました。また、ソリューション事業が増収となった結果、売上高は前年同期比を上回りました。

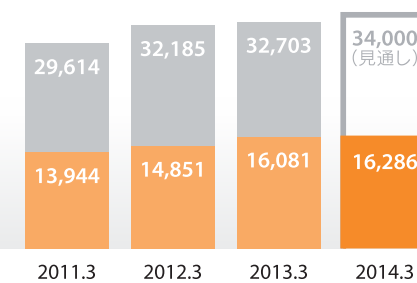
利益

「成長戦略の推進」による、積極的な人材投資等により、固定費が増加し、減益となりました。

売上高

(百万円)

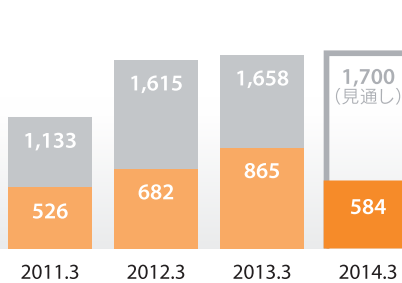
■ 第2四半期 ■ 通期



経常利益

(百万円)

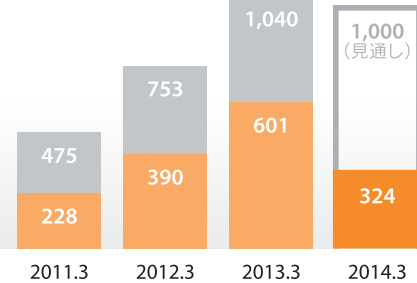
■ 第2四半期 ■ 通期



四半期 (当期) 純利益

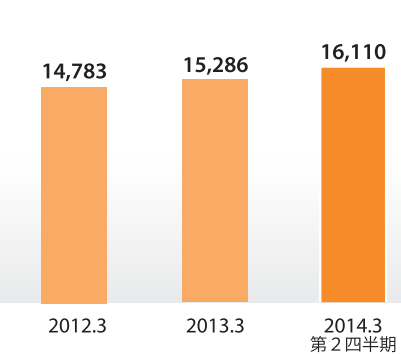
(百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



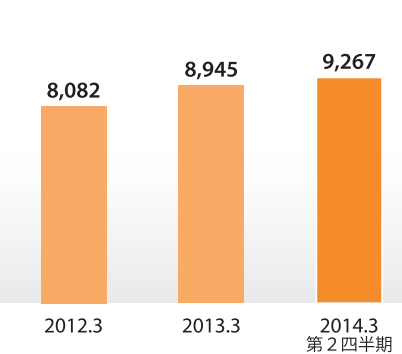
総資産

(百万円)



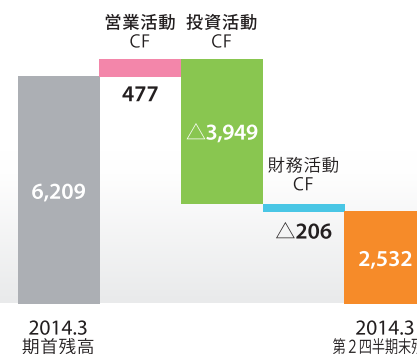
純資産

(百万円)



キャッシュ・フローの状況

(百万円)



セグメント別の概況

売上高：8,969百万円

(前年同期比△0.0%)

EC-BPOサービスの主力部門であるシマンテックストアビジネスでは、売上高は前年同期並みとなりました。一方、東アジア向け売上高は好調に推移しました。また、データサイエンス事業を強化する取り組みを進め、新規連結したウェブフロント大手のフォントワークス、中小企業向けウェブアクセス解析ツール大手の環の売上寄与がありました。

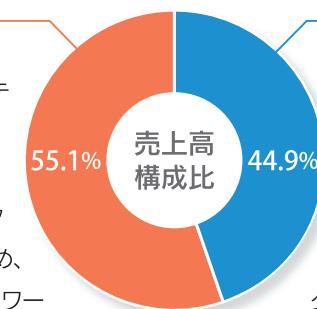
イービジネスサービス事業

売上高：7,317百万円

(前年同期比+2.9%)

省電力サーバやネットワークの機器販売は需要の一巡により大幅に減少したものの、機器販売からサービス提供への収益構造転換策が奏功し、ソフトバンクグループの通信事業やグループ外顧客に向けたサービスインテグレーション案件が好調に推移し、増収となりました。加えて、当事業の限界利益率も改善し全社限界利益率の向上に大きく貢献しました。

ソリューション事業



BUSINESS HIGHLIGHT

ビジネス ハイライト

当上半期における当社プレスリリースより抜粋したトピック一覧です。
注力するビッグデータソリューションでは、教育機関との産学連携や、「4D Pocket」などの新サービスの取り扱いについて発信いたしました。
また、業務提携や本社移転など経営戦略に関わるニュースも配信いたしました。

4.10 Mobile Perfect SP、MCPC award 2013 ネオ・トレンド賞を受賞！

4.17 SharePoint on CloudおよびADFS on CloudのWindows Azure仮想マシン対応開始

4.24 Adobe デジタルマーケティングベストパートナーアワード2年連続受賞！

5.9 ビジネス・ブレイクスルー様に経営分析支援ツールQlikViewを導入

5.20 新株予約権（有償ストックオプション）発行についてご報告

5.30 リアルタイムコラボレーションを支援するMobile Perfect SP研修ツールの提供開始

6.11 フォントワークス株式会社との戦略的業務提携を目的とした株式取得

6.18 東京理科大学様とビッグデータを活用した共同研究契約締結

ECサイトのビッグデータを分析し、顧客行動の予測モデルを構築。より戦略的なサイト運営が可能となります。

6.18 株式会社環との事業提携を目的とした株式取得に関する株式譲渡基本合意書契約締結

7.4 統合デジタルマーケティングソリューション『Adobe Marketing Cloud』の提供開始

7.18 本社移転について

2014年2月に移転完了予定です。

7.24 デジタルアナリティクスソリューション『Google アナリティクスプレミアム』の提供開始

SIGNAL
Consulting Service

当社オリジナルのコンサルティングサービスSIGNALとの連携で、データサイエンス事業を拡大します。

8.8 VMwareパートナープログラム「プレミアパートナー」を取得

8.21 Oracle Certification Awardを受賞！

8.27 クラウドの活用で災害に負けない情報提供基盤を構築！
～浜松市へ、BCPトータルソリューションを導入～



自治体向けCMSとクラウドメールサービスを中心に、「災害に負けない情報提供基盤」を構築しました。

8.29 美しいフォントが利用可能な日本語フォント LETS (レッツ) オンライン提供開始

9.5 アスタミューゼ様へ、SMC Hadoopスターターパッケージを導入

9.25 サイト管理者の負担を軽減する、自動分析型アクセス解析ツール sibulla Ver.8.0の提供開始

9.26 フルスタック&セキュアなSaaS型ビッグデータプラットフォームサービス4D Pocketの提供開始

4D Pocket

企業のビッグデータ活用を推進するためのすべてのソリューションを当社が提供します。

2013年 **4** 月

5 月

6 月

7 月

8 月

9 月

INTRODUCTION AFFILIATED COMPANY

関連会社のご紹介

株式会社環

私たち株式会社環（以下、環）は、2000年の創業以来「誰もがチャンスをつかめる社会を創る」というビジョンのもとに、ウェブ解析を起点としたウェブ解析ツールの提供・ウェブマーケティングの支援・教育事業等を展開してまいりました。この度の業務提携を通じて、環が持つウェブ解析事業とソフトバンク・テクノロジーの事業を連携させ、シナジー創出を図ってまいります。また、データ解析に係る技術基盤とノウハウを結集し、データ解析・有意化を通じたお客様貢献、つまりビッグデータソリューションにおける「データサイエンス」事業へと発展させてまいります。今後もソフトバンク・テクノロジーグループの一員として、事業基盤の拡大および企業価値向上を目指してまいります。

株式会社環 代表取締役
一般社団法人ウェブ解析士協会 (WACA)
代表理事

江尻 俊章

フォントワークス株式会社

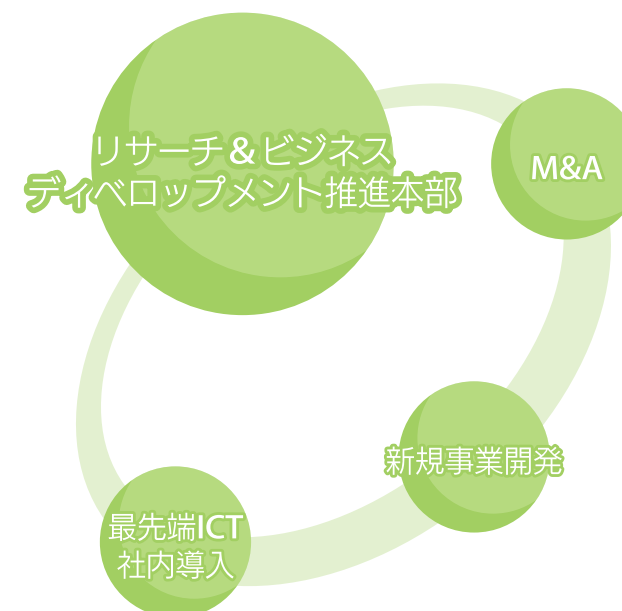
フォントワークス株式会社（以下、FW）は、「心の伝達方法である文字を通じて、社会に貢献し、新しい文字文化を創造すること」を企業理念に掲げ、1993年の設立より一貫して日本語書体を通じた文化創造に取り組んでおります。2011年7月開始の本格的ウェブフォントサービス「FONTPLUS」に対し、FWフォントの提供だけでなく、ソフトバンク・テクノロジーのICTサービスとFWフォントを融合させるべく技術的協業を行ってまいりました。この度の戦略的業務提携により、FWの「クリエイティブ」にソフトバンク・テクノロジーの「テクノロジー」を融合させた、これまで以上にクオリティの高いさまざまなサービスを実現できるものと考えております。より充実したサービスをご提供できるよう、一層励んでまいります。

フォントワークス株式会社
代表取締役

松雪 文一

KEY PERSON INTERVIEW

キーパーソンに聞く



リサーチ&ビジネス ディベロップメント推進本部

リサーチ&ビジネスディベロップメント推進本部は、「企業価値の最大化」をミッションとした経営機能として設立されました。当社の「成長の芽」を探し、育てる役割を担っており、主にM&A、新規事業開発・創出などを推進しています。

当期においては、6月11日にフォントワークス株式会社を、6月18日に株式会社環を子会社化しました。現在はポストM&Aを推進し、事業シナジー最大化のために尽力しています。

今後も世界の技術動向を把握しながら、M&AやJoint Venture、業務提携などを積極的に活用し、当社の企業価値の最大化を目指していきます。

取締役 常務執行役員
リサーチ&ビジネスディベロップメント推進本部長

佐藤 光浩



会社概要

(2013年9月30日現在)

商号	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
本店所在地	東京都新宿区西五軒町13番1号
事業所 (2013年11月1日現在)	飯田橋オフィス(本社)、汐留オフィス、 汐留開発ベース、福岡開発センター、大阪支社、 名古屋オフィス、福岡支社、台湾支店
事業内容	イービジネスサービス事業および ソリューション事業
ホームページ	http://www.softbanktech.co.jp/
資本金	634,555千円
従業員数	587名(連結) 509名(単体)
主な子会社	M-SOLUTIONS株式会社 フォントワークス株式会社 株式会社社環

役員

(2013年9月30日現在)

代表取締役社長	阿多 親市	常勤監査役	廣瀬 治彦
取締役	長田 隆明	監査役	佐野 光生
取締役	青木 克志	監査役	後藤 芳光
取締役	佐藤 光浩	監査役	三木 雄信
取締役	後藤 行正		
取締役	吉田 剛		

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324(フリーダイヤル)
上場取引所	東証第一部(コード番号 4726)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.softbanktech.co.jp/

今後のIRスケジュール(予定)



ソフトバンク・テクノロジー 株式会社

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町13-1 飯田橋ビル3号館8階

TEL 03-5206-3300 (代表)

URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

お問い合わせ先 管理本部 経営企画部

MAIL sbt-ir@tech.softbank.co.jp

※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

株式の状況

(2013年9月30日現在)

発行可能株式総数	42,560,800株
発行済株式の総数	10,640,200株
株主数	4,085名

大株主

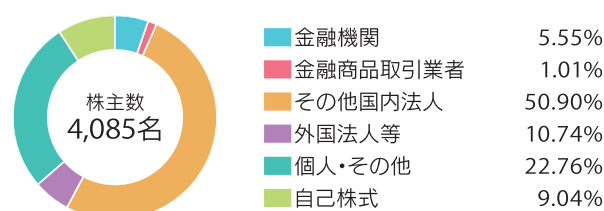
(2013年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ソフトバンク株式会社	5,367,500	55.45
ピーピーエイチ フォー ファイデリティロー プライズ ストック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	375,000	3.87
ザ バンク オブ ニューヨーク-ジャスディックトリティー アカUNT	213,100	2.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	157,900	1.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	138,300	1.42

(注)持株比率は、自己株式(961,890株)を控除して計算しております。

所有者別持株比率

(2013年9月30日現在)



お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。(特別口座管理機関 連絡先) 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほ証券本支店でお受けいたします。



CSR活動 環境への取り組み

当社では、皆さまからのご信頼とご支持を、持続的な成長への礎とするために、「ソフトバンクグループCSR基本方針」の下、取り組みを推進しています。

- 社内手続のシステム化によるペーパーレス**
稟議承認や経費申請手続等をシステム上で可能とする仕組を設けています。
- ペットボトルキャップの収集**
本活動を通し、「世界の子供たちにワクチンを 日本委員会」の支援を行っています。
- 使用済み切手、書き損じハガキの収集**
本活動を通し、発展途上国への支援や緑化運動を推進するNPO団体への寄付を行っています。
- グリーン調達**
会社業務により大量に発生する紙の使用において、再生紙の利用を推奨しています。
- チャレンジ25への参加**
地球温暖化防止運動「チャレンジ25」の趣旨に賛同し、参加しています。

当社は今後も、あすのインターネット社会にむけて、志高く事業に取り組んでまいります。

